大阪府市都市魅力戦略会議

第14回大阪府市統合本部会議
2012. 6. 19

各ワーキンググループ（WG）での検討状況

- 水と光のまちづくり推進WG
- アーツカウンシル検討WG
- 文化施策再検討WG
- 観光・国際交流戦略検討WG
- エリアマネジメント検討WG
  - 大阪城・大手前・森之宮地区WG
  - 文化芸術重点エリア検討WG
  - 天王寺・阿倍野地区WG
  - 御堂筋WG
  - 築港・ベイエリア地区WG
- 主要事業・計画等再構築検討WG（スポーツ施策）

水と光のまちづくり推進WG

■検討の到達点

水と光の首都大阪の実現に向けて

目　標：水と光の首都大阪
- ○ヒト、モノ、情報が集中する水と光のまち
- ○「水と光のまちづくり」の最先端をリードする都市
- ○水と光で世界とつながる都市

民にできることは民に（公民の新たなパートナーシップ）
- ◇ 民が主体となり、さらに飛躍する、水と光のまちづくりへ
- ◇ 行政は民間の活動を最大限サポートし、一体的に新しい公共を構築
  （規制緩和、インセンティブ、活躍の場づくり、投資を呼びこむ制度設計等）
  必要に応じて、パートナーズ等と連携し、大阪の都市魅力を先導するパイロット事業を展開
- ◇ 集客・投資促進 ⇒ 民が稼ぐ ⇒ 水辺の活性化に再投資

■検討の内容

水と光のまちづくり推進の再重点化

都心部に水の回廊を有する「水都大阪」の特徴を活かした都市魅力戦略に基づくまちづくりによって、経済の活性化と都市ブランド向上、さらにはシビックプライド醸成に効果的に取り組む

水と光のコリドール	ポテンシャルある地域に新たなシンボル空間を創造し、大阪の主要集客拠点と水の回廊をつなぐ
水と光のグラン・バル	水と光のコリドールを、10,000のバルと1,000の魅力と100の船が奏でる食の祭典「水と光のグラン・バル」で盛り上げる
水と光のプロモーション戦略	水と光のまちづくりを世界へ発信し、シビックプライドの高揚、世界的な水と光のネットワークの構築を図るとともに、「水都大阪2015」（シンボルイヤー）で強力にプロモーション

水と光の首都大阪の実現のための推進体制の整備

◇数値目標の設定　◇競争原理の導入　◇PDCAサイクルの確立

パートナーズ 民主導の統括推進組織	水都大阪推進のノウハウを継承しつつ、「水と光の首都大阪」実現のヘッドクォーターにふさわしいプロフェッショナル組織 ◇ 公募やスカウトにより、プロモーション・まちづくり・経営に明るい人材を獲得 ◇ 成果主義に基づき、一定期間の評価により契約更新を判断 ※財源・・・自主財源の確保を目標とし、必要に応じて公と民で下支え
オーソリティ 行政組織	◇府市や縦割りを超えた一体的な行政組織を構築。都市魅力を生み出し、価値を高めるよう、都市経営の視点で民間活動を最大限支援 ◇民間活力を活かした都市魅力づくりに必要な制度設計（BID等）に主導的に取り組む

「水と光の首都大阪」実現を支える環境づくり

シビックプライドの醸成
- まちづくりへの住民参加、住民協働を実現。
- 基礎自治体との連携強化による「水と光」の府域展開
  例）シビックプライドプラザの設置、10万人のサポーター、レポーター育成

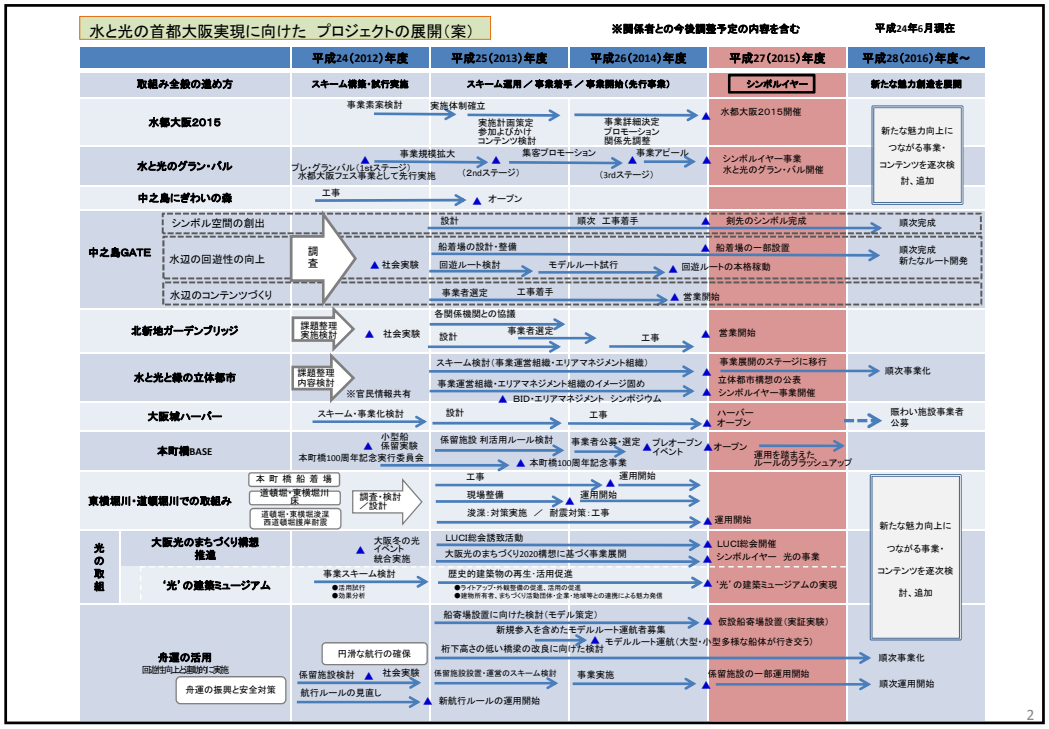
水と光の世界・全国的ネットワーク構築
- 各都市との連携、国際会議等の招致
  例）全国あかりサミット本部誘致、LUCI総会誘致、全国水都ネット会議、国際水都会議

■今後の取り組み

水の回廊とその周辺のエリアマネジメント対象地域を特区エリアとし、パートナーズとオーソリティがタッグを組んで都市の魅力を強化する水と光のコリドールの実現に取り組む

「水辺の魅力拠点」と「水辺のにぎわいや魅力づくりに取組むエリア」
舟運の活性化により、シンボル空間や陸と川をつなぐ水辺の魅力拠点などの回遊性を高め、さらに水と光のグラン・バルで水辺空間を堪能
○大阪城・砲兵工廠跡　○大阪市公館　○ふれあいの水辺　○中之島にぎわいの森　○「光」の建築ミュージアム（船場の近代建築等）　○水の回廊をめぐる遊歩道整備（土佐堀川、　木津川）　○舟運活用の取組み（係留施設、船寄場、桁下高さの低い橋梁改良）
○東横堀川・道頓堀川での川床、水質改善対策などの取組み　○御堂筋のにぎわいづくり　等々

1



アーツカウンシル検討WG

大阪アーツカウンシル（Osaka Arts Council：OAC）の概要

～広く、深い知見を有した専門家で構成された組織～

大阪の文化行政を推進するにあたり、文化の主役は府民、行政はサポート役という基本理念に基づき、大阪にふさわしい文化施策のあり方について、行政ではなく、広く、深い知見を有した専門家が評価、企画、調査等を行うことで、より大阪にふさわしい文化行政の展開を図るとともに、さらなる専門性・透明性・公正性を確保する。

さらに、その母体となる文化施策審議会を通して知事、市長に対して意見、提言を行うことで、専門家の知見を活用した政策と文化事業の連動を図ることができる。

大阪アーツカウンシルの3つのポイント

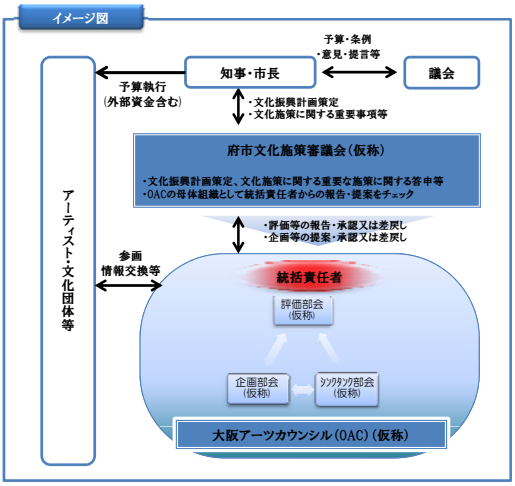
～政策と事業の連動/専門性・透明性・公正性の確保/参画機会の拡充～

①《専門家の知見を活用した政策と事業の連動》
知事・市長が定める文化振興政策（文化振興計画）に基づいて文化施策の評価、企画等を外部の専門家が行うとともに、その成果をもとに母体である文化施策審議会を通して、知事・市長に意見、提言等を行う。これにより、専門家の知見を活用した政策と事業の連動を図ることができる。

②《さらなる専門性・透明性・公正性の確保》
・文化事業主体である団体等が専門家による審査、検証等を受ける。
・大阪アーツカウンシルそのものの人事、組織体制、運営に関して組織内チェック機能を確立するとともに、文化施策審議会からのチェック機能も働かせる
・行政が事業の執行、住民等への説明責任を担う。
これらにより、さらなる公正性・透明性を確保する。

③《アーティスト等の文化施策への参画機会の拡充》
多数のアーツマネージャーを起用し、個人も含め、アーティスト等の文化施策への参画機会の拡充を図り、様々な意見を施策に反映する。

イメージ図



大阪アーツカウンシルの機能

評価部会（仮称）
・府市文化事業の検証・評価と助成事業の対象の審査（配分含む）評価項目等の設計・導入、制度改善等

企画部会（仮称）
・パイロット事業、社会実験事業の企画提案と具体化への提言等

シンクタンク部会（仮称）
・情報の収集、分析、提案、民間資金誘導の検討等

※機能は段階的に拡充
評価部会（企画部会、シンクタンク部会は一部活動）
↓
評価部会、企画部会、シンクタンク部会等

今後のスケジュール

H24年度		H25年度～
都市魅力戦略会議とりまとめ（6月）	設立準備	OAC 活動開始

3

文化施策再検討WG

基本的理念

『文化の主役は府民・市民』であり、行政は府民・市民の「自立と創意」が最大限に発揮されるよう、自主的な活動のサポートに徹することを府市共通の基本理念とする。
こうした基本理念のもと、府市の文化施策における二重行政の解消や事業の融合・統合等による施策のさらなるパワーアップ等を目指し、オール大阪で文化施策の最適化を図る。

3つの視点

- ○府市事業の融合・統合による効率化　～二重行政の解消や、その他事業連携を図ることによる効率化～
- ○府市事業の融合・統合による効果の追求　～資源を集中させることで、さらに効果的な事業展開～
- ○施策のさらなるパワーアップ　～大阪全体の活力につながる仕組みづくりや新たな事業の展開　広域的自治体のコーデイネート機能強化～

具体的方向性

①大阪市においても、有識者で構成される「大阪市文化振興会議《仮》」を設置し、文化振興計画の策定及び重要な文化施策等に関して意見を聞くこととする。
②府市それぞれにおいて広域自治体及び基礎自治体として担うべき役割をふまえつつ、文化振興に関する基本的ビジョンを一本化した文化振興計画を策定する中で、有識者の意見を聞きながら、府市事業の融合、統合、連携に向けた本格的検討を行う。
③平成２５年度事業において、有識者の意見や新たな文化振興計画を踏まえながら、新規事業の展開も含めた本格的な府市文化施策の展開を図るとともに、将来的には大阪アーツカウンシルによる調査、研究、評価等を踏まえ、さらなる施策の展開を図る。
※２４年度においても、先行的に府市連携による事業展開を進めていく。

平成24年度に推進する具体的な連携の例

・大阪城星空コンサートと府庁本館活用事業
(6月2日に先行実施)

・府20世紀美術ｺﾚｸｼｮﾝと市立近代美術館ｺﾚｸｼｮﾝ
(ザ・大阪ベストアート展(月15日～11月25日予定))
・御堂筋ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝと、OSAKA光のﾙﾈｻﾝｽ
大阪クラシック×府庁本館活用事業、おおさかカンヴァス推進事業×野外演劇フェスティバル、水辺のにぎわい創出事業×御堂筋kappo×おおさかカンヴァス推進事業etc…

イメージ図

平成２４年度

- 府 文化振興会議
- 市(仮称)文化振興会議【新設】
- 府市合同会議　新計画策定
- 知事に答申
- 市長に答申
- 府市共通の基本ビジョン
  - 大阪府　広域自治体として各市町村との関係等を踏まえた計画
  - 大阪市　政令市として各区との関係等を踏まえた計画
- 先行的に府市連携による事業展開

平成２５年度～

- アーツカウンシル活動開始
- 「新」文化振興計画
- 府市連携による本格的な事業展開

観光国際交流戦略検討WG

観光　国際交流

観光戦略

◆世界の観光客が憧れる街、世界クラスの「観光都市・大阪」を実現するため、行政と民間の共通する観光戦略を策定。
◆次世代の大阪観光を創造するプラットフォームとして、「大阪観光局（仮称）」を創設。

外交方針

◆交流事業と交流地域の選択と集中を図り、重点的な交流で国際競争力の強化をめざす。
◆大阪の外交を一本化し、大阪全体の外交力を強化する。

大阪観光局

～戦略と行動力ある経営責任者が率いる観光プロ組織～

戦略目標

- ❖ 圧倒的な魅力創造で、大阪をワールドクラスの観光都市に！
- ❖ 世界を駆ける魅力発信で、大阪のプレゼンス向上！
- ❖ マーケットイン戦略・戦術の展開で、大阪の活力を全面展開！

組織体制

★経営責任者(公募またはヘッドハンティング)

戦略的なプロ集団　　チャレンジングな目標設定

業務執行組織

- 魅力創出
- プロモーション情報発信
- MICE
- 経営マーケティング

社会情勢に応じたスピード感ある戦略的・挑戦的な取組みを推進
民間のマーケットインの発想で事業展開

＜戦略立案・目標設定＞
府市観光戦略や数値目標を踏まえ、
■府・市・経済界が一体となり取り組む「大阪の観光戦略」を策定
■大阪の成長を支えるため独自目標を設定

財　源

- 収益事業拡充、公的観光施設の入場料
- 観光・にぎわい施設からの収入確保
- 戦略的な観光振興に必要なまとまった財源

行政との関係

◆集中的な財源投下と経営責任をセットで付与
◆行政・専門家による適切な運営管理・評価

評価システム

知事、市長、専門家等による評価委員会

チェック機能
・業績評価
・目標達成時のメリットシステム
・未達成時の経営陣入替

運営サポート
・事業推進財源の措置等

競争性の確保
次フェーズに向け運営主体の適合性チェック

世界クラスの「観光都市　大阪」を目指すプロジェクト（イメージ）
「大阪観光局」が総合プロデュース・事業推進するメニュー

魅力創出

大阪の魅力革命！

◆キラーコンテンツ創出
規制緩和・助成等で民間資金を呼び込み、観光魅力・エンタメ拠点を創出

◆ラグジュアリー戦略
ハイグレードなﾎﾃﾙ・ﾚｽﾄﾗﾝ等との連携ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ
ラグジュアリーな観光メニューの開発
◆クールジャパンの発信

多彩な観光メニュー開発！

◆夜の観光メニュー充実
ナイトツアー、ショー劇場、ライブハウス、クラブ、BAR(ﾊﾞｰﾙ)

◆国際医療観光の推進
事業推進コンソーシアムの整備
海外プロモーションなど
ツアー造成促進

◆関西広域での魅力創出
歴史・文化体験型観光メニュー

プロモーション・情報発信

◆観光情報発信の集中管理（クラウド化）
インターネットHP、スマホアプリ、デジタルサイネージ情報を最適化ミックス
◆観光コンテンツレファレンスセンター
デジタルコンテンツの管理、広告代理店・出版社等への販売

◆海外プロモーション戦略
メディアプロモーション
（アジアにおけるCATVの活用）
イン・アウトバウンド双方向プロモーション
◆クルーズ船誘致促進、LCCの活用

MICE

◆MICE戦略の策定
◆MICE施設の相互連携システム構築
キーパーソンへのプロモーション強化
MICEシニアディレクターの設置
◆スポーツ観光
国際会議とスポーツイベントのコラボレーション
ジョギングルートなどの環境整備

大阪観光局
次世代の大阪観光を創造するプラットフォーム

地域ブランド・地域連携

◆市町村の魅力連携プロデュース
地域特産品のブランド化コーディネート
地域魅力掘り起こし、ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化・商品化
お土産品等の開発

アクセス向上・観光案内

観光拠点・キラーコンテンツをつなぐ
◆観光ループバスの運行
◆船着場の整備

◆ホテル、観光施設、劇場チケットのﾜﾝｽﾄｯﾌﾟ販売
◆大阪発着オプショナルツアー
予約・申込システムの一元化

大阪観光局設置に向けたスケジュール（案）

年度	24年度 7月	9月	10月	11月	12月	25年度 4月
経営責任者の選定	人選					大阪観光局
戦略策定 目標設定・事業立案		戦略策定　目標の検討　事業の検討		関係・骨格事業確定	府市予算編成に反映	事業実施
事業評価		評価指標・手法検討		評価委員会設置		

6

エリアマネジメント（大阪城・大手前・森之宮地区）検討WG

大阪城エリア・世界的観光拠点化構想

民活による本丸やエントランスエリアでの新たな賑わいイメージ

訪日観光の玄関口に！
海外からのビジターがまず立ち寄るゲートパークに！

・関空とのアクセスの良さを活かし、関西の観光拠点機能を兼ね備えた複合集客施設を、民間のアイデアと活力を生かしNHK 跡地に整備
・最寄り駅近くには、それぞれのロケーションを活かした観光案内機能を備えるエントランス基地を整備

日本初の観光拠点型PMOの導入！
民主導のPMOによる都市魅力向上マネジメント！

・民間のアイデアや活力を導入した持続的な魅力向上
・公園使用料や事業収益などエリア内収入による魅力向上事業への再投資（PMO活動財源の一元化）
・公から民への業務権限移譲によるPMOの自主的経営

エンターテイメント溢れるイベントや歴史観光の拠点に！
PMOによる戦略的なマネジメント

・四季折々の多彩なイベントの実施
・西の丸庭園や太陽の広場の活用
・歴史観光スポットを繋ぐ、新たな回遊動線の整備と新たな園内モビリティの運行
・近代建築を繋ぐ新たな回遊魅力の創出
・市民ボランティアによる観光案内の拡大

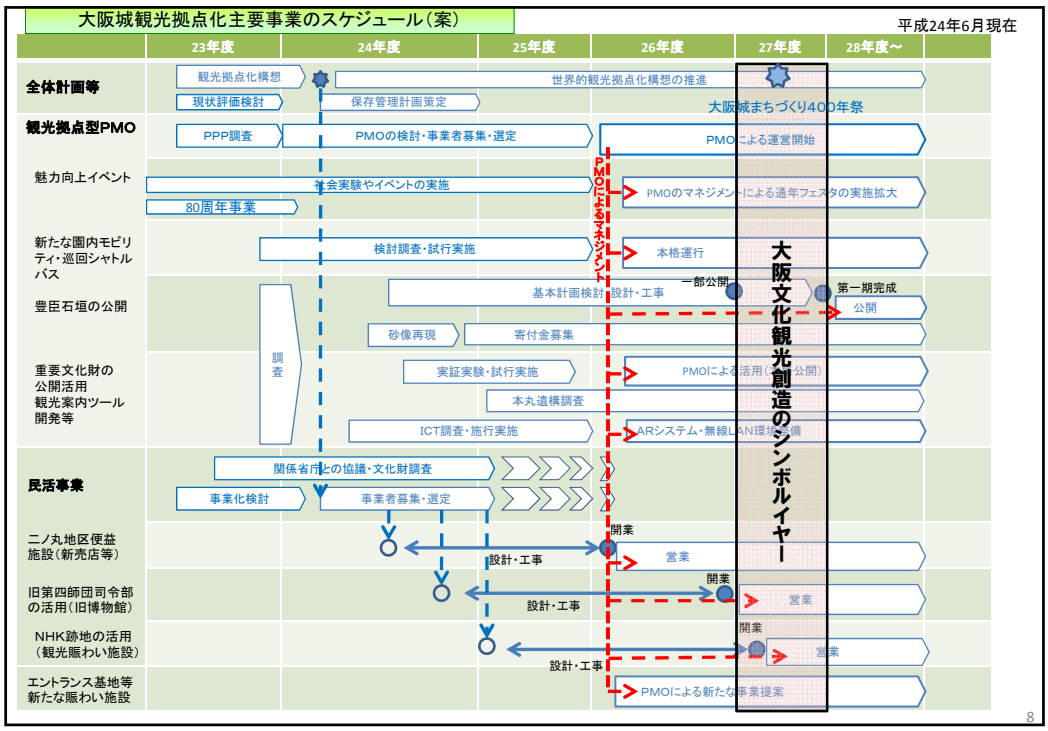
大阪城の歴史・文化を楽しく体感できる歴史公園に！
重層的に存在する歴史資産を活用した新たな観光スポットの創出

・豊臣石垣の発掘公開、重要文化財の常時公開
・ＡＲ（仮想現実）や砂像などによる初代天守閣、徳川本丸御殿などの可視化再現
・歴史観光拠点に相応しい本丸地区の環境整備

回遊性、快適性、利便性アップで都市魅力溢れる滞在型公園に！
民間活力を導入した公園魅力の向上（レストラン・売店の再編）

・水と緑豊かなロケーションを活かしたコンセプト売店、
レストラン、ｹｰﾀﾘﾝｸﾞ ｶｰ、移動店舗などを核とする新たな賑わいの創出
・4つのｴﾝﾄﾗﾝｽと本丸を結ぶ巡回シャトルバスの運行
・水都との入口にあたる水辺のプロムナードを整備

7


大阪城観光拠点化主要事業のスケジュール（案）
平成24年6月現在
23年度
24年度
25年度
26年度
27年度
28年度～
全体計画等
観光拠点化構想
世界的観光拠点化構想の推進
現状評価検討
保存管理計画策定
大阪城まちづくり400年祭
観光拠点型PMO
PPP調査
PMOの検討・事業者募集・選定
PMOによる運営開始
魅力向上イベント
社会実験やイベントの実施
80周年事業
PMOのマネジメントによる通年フェスタの実施拡大
新たな園内モビリティ・巡回シャトルバス
検討調査・試行実施
本格運行
豊臣石垣の公開
基本計画検討
設計・工事
一部公開
第一期完成
公開
砂像再現
寄付金募集
重要文化財の公開活用
観光案内ツール開発等
調査
実証実験・試行実施
PMOによる活用（一部公開）
本丸遺構調査
ICT調査・施行実施
ARシステム・無線LAN環境整備
大阪文化観光創造のシンボルイヤー
民活事業
関係省庁との協議・文化財調査
事業化検討
事業者募集・選定
二ノ丸地区便益施設（新売店等）
開業
設計・工事
営業
旧第四師団司令部の活用（旧博物館）
開業
設計・工事
営業
NHK跡地の活用（観光賑わい施設）
開業
設計・工事
営業
エントランス基地等新たな賑わい施設
PMOによる新たな事業提案
8

文化芸術重点エリア検討WG
中之島ミュージアム・アイランド構想の推進　～世界的な文化集客拠点へ～
大阪の新しい都市魅力の創造に向け、中之島を文化芸術の重点地域として位置づけ、エリアのブランド化を図る
『文化芸術』と『水と光』のシンボリックな融合に向け、公民一体となったマネジメント戦略を展開する
例えば
○周辺施設と一体となり、国内外から集客できるイベント等の開催
○仕事帰りなどにも文化的なナイトライフを楽しめるエリアとしての演出　など
【イメージ】
中之島ミュージアム・アイランド構想
中之島にぎわいの森（'13年夏オープン）
フェスティバルホール（'13年4月オープン）
中之島図書館
大阪大学中之島センター
市有地
国立国際美術館
科学館
リーガロイヤルホテル
【西部エリアでの取組み】
現状
市有地を含めて低未利用地が多くまちづくりのボトルネックとなっている
『構想』推進のトリガーとして中之島４丁目の市有地整備を進める
文化集客拠点としてのまちづくりを公民一体で進め、中之島全体に賑わいを拡大
【東部エリアでの取組み】
現状
重要文化財を含む近代建築群の魅力が十分に発揮されていない
中之島図書館について、都市魅力の観点からあり方検討を進める
魅力的な近代建築が集積しているメリットを活かし、観光拠点化を図る
中之島４丁目を「構想」推進のトリガーに！
・市有地において新たな美術館やコンサートホールの整備を検討（平成25年度には基本計画の策定に着手予定）
・国立国際美術館や市立科学館とミュージアムコンプレックスを形成
・世界的な文化集客ゾーンに向けて、公民一体でブランド化を推進（「文化芸術」と「水と光」のシンボリックな融合）
「（仮称）中之島4丁目市有地活用マスタープラン検討会」の立ち上げ
○世界的な視点から市有地のあり方を検討できる有識者により構成
○平成24年度内を目途に方向性を提示
・広域行政の視点からみた新たな美術館に求められるコンセプト（「美術館村構想」を含む）
・コンサートホールの整備の必要性　等
中之島図書館を都市魅力施設として積極活用！
・建物の魅力や歴史的な貴重書を活用し、ミュージアム機能を発揮
・カフェやレストラン等の集客施設を誘致し、賑わいを創出
・中央公会堂、適塾、愛珠幼稚園とともに重要文化財の集積をアピール
・船場の近代建築群とも連携し、観光拠点化
【イメージ】
9

エリアマネジメント（天王寺・阿倍野地区）検討WG

世界第一級の都市型動物園

夜も楽しめ誰もが行きたくなるおしゃれなレストラン

存在感をアピールするエントランス・ウエルカムガーデン

国内外からの集客を図る大型観光バス駐車場

ウエルカムガーデンでのイベント

新世界&通天閣百年祭オープニング

慶沢園と美術館

茶臼山と河底池

映像館と植物温室

1. 世界に通じる観光拠点に！（エリアマネジメント）
～個性の異なる各エリアの魅力をブラッシュアップ～

- 天王寺・阿倍野・上町台地・新世界等、個性的な"まち"が集まる魅力的なエリアの市民・企業・団体等が協調したエリアのブランド力の向上
- 周辺エリアの特性を活かし、地域との連携や国内外プロモーション等により動植物公園を核としエリア全体の集客力を強化
- "まち"のさまざまな魅力を広く楽しんでもらえるよう、企業・団体等と協働し、エリア内の回遊性を向上させる取組みを推進
- 本エリアの結節点に位置する天王寺動植物公園として魅力向上に向けた流れを大きくしていき、よりつながりを持った協議会組織による運営へと継承、発展

2. 動物園・公園の一体的運営で観客力アップ！（パークマネジメント）

- 動物園と公園の一体的運営による効率的で主体性のある経営
- 立地特性を活かしたレストラン等・民間活力の導入による、持続的な動物園・公園の経営基盤の確立と魅力向上

3. エンターテインメント溢れる公園に大変身！

- 公園への期待が膨らむランドマークやオブジェ・動物がお出迎えするエントランス等、民間の知恵による楽しさ満載の公園
- 人の流れを生み出し存在感を強くアピールするエントランス・ウェルカムガーデン、イベント広場、さらに動物園へのワクワク感がアップする仕掛けの導入
- 四季を通じ大人も子供も楽しめる、さまざまなイベントの開催
- 映像館と植物温室がより高い集客を生み出すための転活用（例：温室にある植物を使った料理が味わえるレストラン）
- 茶臼山での歴史、文化の体験や慶沢園で和のイベントの開催と、これらの幅広い活用に向けた環境整備

4. エリアの核となる世界第一級の都市型動物園へ！

- 都会の真ん中で大自然に生きる動物の姿を生息地ごと、まるごと体感できる生態的展示の動物園
- 最新の展示方法や飼育方法を取入れ、常に進化し続ける動物園
- 絶滅危惧種の重点繁殖、種の保存、環境教育にも貢献

5. もっともっと！天王寺・阿倍野エリアに来ていただくためのプロモーション大展開！

- 国際観光振興を図るためのエリア全体、動物園と公園が一体となった情報発信
- 中国をはじめ成長著しい東アジアから観光客の大幅な増加等、市場ごとのニーズに応じたきめ細やかな観光プロモーションの展開と旅行商品化（オプショナルツアー、パック商品の開発・販売への取り組み）の促進
- 多くの外国人観光客でにぎわう難波・ミナミとの「近さ」「つながり」を活かした誘客戦略
- 大阪フィルムカウンシルと連携したロケ誘致やメディア露出の機会の増加

天王寺動植物公園を核としたエリア形成のスケジュール（案）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度以降
動植物公園の集客や回遊性の向上	エントランス広場・バス駐車場の整備				
獣舎の生態的な展示の推進	ホッキョクグマ舎の調査 整備				アシカ舎の整備
動物園内の快適性の向上	園路舗装改修・園内サインの充実等整備				
レストランの売店（民間活力の導入）	レストラン・売店開業予定				
エリアのブランド力の向上	「百年祭協働委員会」「Welcoming 事務局」「上町台地協議会」との組織による運営			動物園開園100周年	110周年へ
周辺エリアと回遊性を高めるまちなかサイン	新世界・実施あべの・検討	素案づくり 関係機関協議	サイン等の設置 誘導性の向上		
鉄道事業者との連携	鉄道事業者との連携（JR 大手私鉄）				
映像館 植物温室及び 慶沢園 茶臼山の活用	企画検討	企画実施（試行）	企画実施（例 100周年ﾌﾟﾚｲﾍﾞﾝﾄ等）		
観光プロモーション	企画検討	企画実施（試行）	企画実施（例 100周年ﾌﾟﾚｲﾍﾞﾝﾄ等）		
	観光部局との連携				

エリアマネジメント（築港・ベイエリア地区）検討WG

船客万来！築港（OSAKA CHIKKO）を世界を代表する国際集客観光拠点へ！！～クルーズ客船母港化構想～

開発コンセプト

世界的な創造都市に向けてグレートリセット

大阪の再生
～都市魅力創造～

『大大阪』にふさわしい都市魅力創造のシンボルプロジェクト

新しい時代の流れリ・ジェネレーション

クルーズ市場の成長
～新たな需要の取り込み～

- 成長著しい観光産業
- 大阪への寄港ニーズ
- 大きな経済効果

MISSON　CHANCE

築港の国際的な集客観光拠点化
世界に冠たる築港ブランドの確立をめざす

JOYFULL PORT CHIKKO

集客観光拠点化戦略

戦略1：クルーズ客船母港化構想
経済波及効果が高く、観光都市として世界への発信力の強化にも資するクルーズ客船の母港化（拠点港化）

戦略2：インナーハーバーの再生強化プログラム
民間活力の導入による魅力的な集客観光拠点の創出
- 天保山ハーバービレッジ
- 旧サントリーミュージアム[天保山]
- 中央突堤2号上屋再開発（ピアCプロジェクト）
- 赤レンガ倉庫

築港エリアマネジメント推進組織（案）
- 築港の世界へのプロモーション
- 文化・集客イベントの開催等

コアメンバー
- 府市観光部局、港湾局
- 区役所
- 集客施設事業者（海遊館他）等

＋

必要に応じて参加
- 地元NPO
- 地域活動団体他

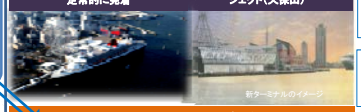
築港の強み
- 豊富な歴史・文化・景観資源
- 大規模集客施設を核とした多様な観光資源
- 関西の海の玄関口
- 日本随一の客船岸壁
- 地元のホスピタリティ
- 都心へ水上アクセス可能

築港の目指す将来像

クルーズ客船の母港化による内外集客力強化に新たなウォーターフロントのまちづくりに挑戦し、世界にアピールできる集客観光拠点をめざす

クルーズ客船母港化構想

クルーズ客船が定常的に発着



クルーズ・シップ・ターミナル・プロジェクト（天保山）

インナーハーバーの再生強化プログラム

魅力的な拠点施設の創出

赤レンガ倉庫活用イメージ

具体化方案

CHIKKO　世界へ開かれた大阪・関西の海の玄関口に

クルーズ客船の母港化

★スムースな入出国体制の確立
- スピーディーなパスポートの受渡施設
- 迅速な手続きが可能なCIQ施設の設置等

★競争力のある港湾施設使用料

★外国人観光客がストレスなく行動（移動）できる環境づくり
- 観光案内・買物・両替等のインフォメーションの充実
- 案内誘導サインのデザイン統一 多言語表記化

H24年度クルーズ客船母港化研究会（仮称）

★既存旅客ターミナルの全面改修又は建て替え
★他港より競争力のあるインセンティブの導入
（入港料、岸壁使用料の減免等）

H24年度　官民による「大阪港クルーズ客船誘致連絡協議会（仮称）」立ち上げ

★アジア域内のクルーズ船社へのトップセールス

CHIKKO　内外の観光客でにぎわう港まちに

天保山ハーバービレッジ一帯
- イベントの定常化による新たな賑わいの創出
- ペロタクシー（自転車タクシー）の運行によるエリア内回遊性の向上等

海遊館への一体貸付
人工地盤等の市所有施設を㈱海遊館に一体貸付し、民間のノウハウを活用したサービス向上

旧サントリーミュージアム
- 海遊館と集客観光面で相乗効果の期待できる施設利用へ転換

民間活力導入による集客力の強化
- 民間に全体を長期貸付（公募）
- 24年度内はツタンカーメン展後暫定活用を公募

中央突堤2号上屋
- 美しい夕陽を感じるロケーションを活かし、周辺の緑地・岸壁と連携した集客・交流拠点へ転換

民間の企画力を活用した施設へ再生
インセンティブを付し事業者を公募
（H24年度末物流施設として供用廃止）

CHIKKO　風情感じる港まちに　／　楽しさあふれる港まちに

赤レンガ倉庫
- 歴史ある港風情を活かした集客拠点の創出

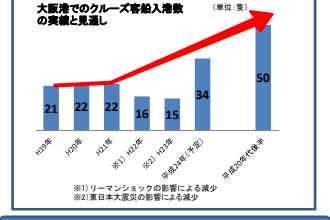
民間への売却・貸貸による再生利用
- 耐震補強を民間事業者が実施できる売却・貸貸条件を設定し公募
- 倉庫積広場では文化・交流拠点として「天保山まつり」や「電光キャンドルナイト」等の文化・芸術・集客イベントを支援

12

クルーズ客船の現状・効果

アジアにおいて成長著しい観光産業

大阪への寄港ニーズの増加



欧米の主要クルーズ船社が相次いで東アジアに進出
日本においても母港（拠点港）化の検討を進めている

＋

クルーズ客船母港化（拠点港）の効果

①経済波及効果
寄港地である場合の約10倍の経済効果
経済効果：年間約207億円
税　　収：年間約　25億円
※大阪港を母港とし乗船客2500人のクルーズ客船が1回／週航海したケースを試算
また、母港となると入港回数の増加が見込まれる
②観光都市としての世界への発信力の強化
- 大阪の世界プロモーションの旗印、都市ブランドの向上（大阪から世界へクルーズ客船が就航しているという魅力）
- シビックプライドの醸成

築港でのクルーズ客船の母港化に向けて、寄港ニーズの増加と海外船社の母港化検討のタイミングを捉えるチャンス

クルーズシップターミナルプロジェクトイメージ（天保山）

ピアCプロジェクトイメージ（ウォーターフロントのにぎわい創出）

主要事業スケジュール（案）

		H24年度（2012）	H25年度（2013）	H26年度（2014）	H27年度（2015）	～H30年代中旬	備考
プロモーション、エリアマネジメント		推進組織の立ち上げ準備	推進組織によるマネジメント				
クルーズ客船の母港化	観光行政連携 H24協議会立ち上げ	大阪港クルーズ客船誘致連絡協議会（仮称）					
	誘致活動	誘致活動					
	施設整備 H24調査により規模等決定	旅客船ターミナル　設計・工事			追加整備		追加整備は需要に応じ対応
	インセンティブ	必要な手続き（条例、予算等）					
	関係者調整 税関、入国管理、検疫等	関係者調整					
	サイン整備	管理者間での統一～順次整備					
	都心部との水上アクセス	水上アクセスツアーのトライアル	水上アクセスツアーの商品化				
インナーハーバーの再生強化	天保山ハーバービレッジ	一体貸付準備	海遊館による活用				
	旧サントリーミュージアム[天保山]	事業者募集等	民間事業者による活用				
	赤レンガ倉庫	暫定活用	民間事業者による活用				
	中央突堤2号屋	年度末に物流施設としての供用廃止	条件検討 / 事業者募集等	民間事業者による活用			

都市魅力戦略策定

クルーズ客船母港化計画策定調査（誘致戦略・基本構想・研究会等）

クルーズ客船の母港化

他の集客・観光施設との連携 ベイエリア地区全体の観光連携

13

エリアマネジメント（御堂筋）検討WG

‘御堂筋’から世界的な‘MIDO-SUJI’へ

コンセプト（案）

①国内外の人々を惹きつけるクオリティの高いにぎわい
②24時間稼動する多様な都市機能
③アジアーの魅力的な都市環境を備え、常に新たな価値を創造するストリート

戦略：御堂筋のフェスティバルモール化

御堂筋及びその周辺エリアが一体となり、四季を通して、クオリティの高いにぎわいを創造・発信（フェスティバルモール化）

①MIDO-SUJI グローバルプロモーション戦略	アジアで一番魅力的なストリート‘MIDO-SUJI’を舞台に大阪の都市魅力を世界へ発信、世界に誇る「大大阪」ブランドを創出
②MIDO-SUJI 空間再編戦略	ここでしか味わえない特別な体験を提供するため、御堂筋独自のクオリティの高い空間やにぎわい等を形成
③生きた「建築ミュージアム」	御堂筋周辺のエリアで歴史的建築物の再生・活用による、生きた「建築ミュージアム」を実現

＋

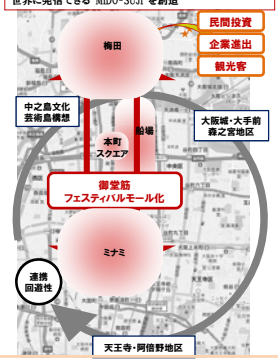
④推進体制の構築

御堂筋版・民間主導のエリアマネジメント
○エリアマネジメント組織による、継続的・持続的な都市魅力発信に向けた民間主導のまちづくり、エリア運営を検討（資金調達方策等）

公共の役割
○民間主体の取組みの実現と推進に必要な環境整備
○民が稼ぎ、民が再投資する経済サイクル形成支援

2015（シンボルイヤー）に向け、御堂筋及びその周辺エリアから都市魅力を強く発信、御堂筋のフェスティバルモール化に向けた動きを加速

「グランドデザイン・大阪」の方向性との整合を図りながら、世界に発信できる‘MIDO-SUJI’を創造



【①MIDO－SUJIグローバル・プロモーション戦略】
‘MIDO-SUJI’を舞台とした世界的イベントの創造と発信

◇御堂筋を舞台に大阪の魅力を世界に発信する四季折々に連続したシンボルイベントの創出
・御堂筋イベントのトータルマネジメント
・御堂筋を舞台とするイベントだけでなく周辺でのイベント実施によるスケールアップ
・ストリートライブの実施　等
◇‘MIDO-SUJI’の魅力の情報発信の強化・充実
・プロモーションツールの充実、・御堂筋デザインストリートの発信等

【②MIDO-SUJI空間再編戦略】

世界に発信する‘MIDO-SUJI’にふさわしいクオリティの高いにぎわい空間の形成
◇御堂筋デザインストリートの実現
・沿道建物低層部へのクオリティの高いテナントの進出促進
・沿道のクオリティの高い空間づくり、景観形成
（例：デザイン性の高いオープンスペース等を活用したイベント・商業利用、展示、官民連携による美化の推進　等）
◇集客の核となる拠点の整備・誘導
・ミナミ；難波駅前広場、精華小路、宗右衛門町等、
・梅田；大阪駅南地区プロジェクト、・本町スクエア
◇歩行者空間の充実（側道（緩速車線）の空間再編など）

【③生きた「建築ミュージアム」（船場・中之島エリア等）】

中之島図書館や愛珠幼稚園等、公的な歴史的資産の活用の動きとあわせ、近代建築をはじめとする民間歴史的建築物の再生・活用を促進し、生きた「建築ミュージアム」として、その魅力を発信
◇ライトアップとその効果を高める外観整備の推進（再生補助など）
◇生きた活用の促進につながる支援方策の構築
◇建築ミュージアムを核としたブランド戦略
・継続・発展的な再生活用促進と魅力発信、夜間の回遊性を意識した‘光’の建築ミュージアムなど
◇都市魅力資源（公的資産・民間建物）のネットワーク化、他施策やプロジェクト等との連動イベントの実施
・オープンハウスOSAKA（建物の一斉公開）の実施など

≪MIDO-SUJIで展開されるイベント等のイメージ≫

14

御堂筋フェスティバルモール化に必要なこと（制度・仕組み・体制）

民間と公共が一体となった
都市魅力創出
［御堂筋エリア＋その周辺エリア等）］

エリアマネジメント（民間主体）

取組み例
◇沿道企業、まちづくり活動団体等を核とした組織構成とエリア毎の特性に応じたエリアマネジメントを展開
◇ 公共空間の包括的な占用許可
◇ オープンスペース等の質の高い魅力ある活用（商業・イベント利用）
◇ 都市魅力戦略のPR・イベント実施
◇ エリアの景観形成活動
◇ 御堂筋にふさわしいテナントマネジメント
◇ クオリティの高いにぎわい施設の整備・管理・運営
◇自立した活動に向けた資金確保のための収益活動

支援・誘導　（公共）

取組み例
◇エリアマネジメント組織の設立支援
◇ 規制緩和、誘導等
・民間投資促進に向けた高さ規制などの緩和
・世界に発信する都市景観形成に向けた規制誘導（ファサードデザイン・夜間景観等）
・歴史的建築物の法的取扱等
◇ 取組みを促進するインセンティブの付与
・容積緩和、建築物再生補助・ライトアップ補助　等
◇ オープンスペース等の利活用条件整理、相談・許可窓口の効率化・支援体制づくり（府市、各局連携、関係機関連携）

御堂筋フェスティバルモール化実現に向けた　プロジェクトの展開（案）

※関係者との今後調整予定の内容を含む　　平成24年6月現在

		平成24(2012)年度	平成25(2013)年度	平成26(2014)年度	平成27(2015)年度 シンボルイヤー	平成28(2016)年度～
MIDO-SUJI グローバル・プロモーション戦略	●御堂筋を舞台とした大阪の魅力を世界に発信する四季折々のシンボルイベントの創出	企画	連携イベントなど実証的取組み		本格展開	
	●御堂筋の魅力の情報発信の充実	企画	観光局と連携しながら順次、情報発信ツールを整備・展開			
MIDO-SUJI 空間再編戦略	●クオリティの高いにぎわいの空間の形成、集客の核となる拠点の整備・誘導	調査検討、協議・調整、必要な手続き		順次民間プロジェクトの展開		
	●オープンスペース等を活用したにぎわい形成、歩行者空間の充実	調査検討、協議・調整、必要な手続き	実証実験		本格展開	
生きた「建築ミュージアム」の実現	●御堂筋周辺の都市魅力の向上（船場・中之島等）	事業スキームの検討	歴史的建築物の再生・活用促進		生きた「建築ミュージアム」の実現・発信	建築ミュージアムの維持・発展につながる新たな魅力向上事業・コンテンツを逐次検討・追加
御堂筋版・エリアマネジメント	●民間主導によるエリアマネジメント	調査・検討	関係者調整・一部実証事業・組織づくり		本格展開	

15

主要事業・計画等再構築検討WG（スポーツ施策）

基本的理念(何をめざすか)

府・市のそれぞれの強み・蓄積など、大阪の既存の資源を最大限活用し、
スポーツのもつ力を活かして、新たな都市魅力を創造

◆広域自治体と基礎自治体との役割分担のもと、市町村、経済界、在阪のトップスポーツチーム等との新たなコラボレーションを創造し、スポーツのもつ力を活かして、府民の元気、大阪全体の活性化、経済活性化などの高い波及効果をもたらす。

◆府市既存事業の統合・連携により効率化を図り、スポーツ施策のさらなる強化・新たな展開（グレートリセット）をめざす。

府・市の強み、蓄積

・大阪府　広域事業を実施する中で培ってきた市町村や各種団体とのネットワーク・コーディネート力
・大阪市　大規模施設を活用した各種競技大会の開催で蓄積したノウハウ

＋

役割分担のメルクマール

・広域自治体　大阪全体を見渡した戦略的な事業、大規模スポーツイベント・競技大会の開催　など
・基礎自治体　地域のニーズに応じたスポーツ推進　など

再構築の4つの視点

<1>　拡大から活用へ　～　既存施設の新たな活用と工夫
<2>　スポーツコミュニティの創造　～　もの、ひと、組織の垣根を越えたネットワークづくり
<3>　大阪の元気づくり　～　大阪のまちをスポーツの舞台に
<4>　民の力の活用　～　公と民の新たなコラボレーションの創造

具体的方向性・検討内容（何が変わるのか）

大阪府・大阪市でスポーツ施策の戦略を「大阪府スポーツ推進計画」(H24年4月策定)に一本化。
～共通戦略のもとで、スポーツによる都市魅力創造に取り組む～

<計画目標>　大阪スポーツ王国の創造
◆だれもが「する」「みる」「ささえる」スポーツに参加できる大阪
◆スポーツを通じて健康で明るく活力に満ちた大阪
◆スポーツを通じて都市の魅力を創造し、発信する大阪

具体的な戦略例

大阪を元気にする“フェスティバル型”の大規模スポーツイベントを展開　～大阪マラソン、サイクルイベント etc. ～	・単なる競技大会の誘致だけでなく、府民・市町村・経済界も巻き込んだ、「フェスティバル型」の大規模スポーツイベントの積極的な展開により、内外から人が集い、府民の元気、大阪の魅力発信、経済活性化、シビックプライドの醸成など、都市魅力創造に資する高い波及効果を確保
大阪のトップスポーツチーム等の活力を都市魅力の創造に最大限活用	・大阪では、サッカーなど様々なトップスポーツチームやアスリートが活躍し、都市のアイデンティティにも貢献。府・市が有する強み・蓄積を発揮して、在阪のプロチーム等と連携した取組みを展開し、都市魅力を向上
再構築の成果が府内市町村に波及し、更なる盛り上げにつながる仕組みづくり	・府市で重複していたスポーツボランティアなどを再構築し、幅広い世代、全市町村を巻き込んで、更なる盛り上げを図る仕組みづくりを推進

スケジュール　2012年度　2013年度　2014年度

※本年度より、順次可能なものから実施

具体的な取組み（例）
【2012年度～】・大阪マラソンのさらなる盛り上げ
（同時開催の神戸マラソンとの連携による関西の活性化、多彩な関連事業の展開、海外誘客の強化など）
・大阪の都市魅力を高める大阪独自の大規模スポーツイベントの検討推進　（サイクルイベント）
・スポーツ施設予約システムの一元化による効率的運営
（市のシステムを府のオープン・スポーツ施設情報システムに移行予定）

【2013年度～】　プロ・アマスポーツチーム等と連携した府民がスポーツとふれあう機会を拡大する取組みの推進、大阪スポーツ王国事業×トップアスリートによる「夢・授業」事業、スポーツボランティアの再構築　など

2015年度～

府民、市町村、経済界、トップスポーツチーム、アスリート、スポーツ団体等による新たな協働の形を確立

スポーツによる新たな都市魅力を発信

・府民が誇れる「大阪スポーツ王国」をめざす。
・他の府市統合シンボルプロジェクトともリンクした大阪マラソン＆サイクルイベント等の展開

16

各WG事務局

WG		担当特別参与	事務局　（★主担当）	Tel
水と光のまちづくり推進		橋爪特別顧問、嘉名特別参与	★大阪府府民文化部都市魅力創造局都市魅力課	6210-9301
			大阪市ゆとりとみどり振興局観光室水辺魅力担当	6282-5902
アーツ・カウンシル検討		橋爪特別顧問、池末特別参与、太下特別参与、嘉名特別参与、中川特別参与、橋本特別参与、山口特別参与	大阪府府民文化部都市魅力創造局文化課	6210-9305
			★大阪市ゆとりとみどり振興局文化部文化振興担当	6469-5170
文化施策再検討		橋爪特別顧問、池末特別参与、太下特別参与、嘉名特別参与、中川特別参与、橋本特別参与、山口特別参与	★大阪府府民文化部都市魅力創造局文化課	6210-9305
			大阪市ゆとりとみどり振興局文化部文化振興担当	6469-5170
観光・国際交流戦略		橋爪特別顧問、池末特別参与、太下特別参与、嘉名特別参与	★大阪府府民文化部都市魅力創造局国際交流・観光課	6210-9309
			大阪市ゆとりとみどり振興局観光室観光企画担当	6469-5150
エリアマネジメント検討	大阪城・大手前・森之宮地区	橋爪特別顧問、嘉名特別参与、橋本特別参与	大阪府府民文化部都市魅力創造局国際交流・観光課	6210-9309
			★大阪市ゆとりとみどり振興局観光室大阪城魅力担当	6469-5154
	文化芸術重点エリア検討	橋爪特別顧問、池末特別参与、太下特別参与、嘉名特別参与、橋本特別参与、山口特別参与	大阪府府民文化部都市魅力創造局文化課	6210-9305
			★大阪市ゆとりとみどり振興局文化部近代美術館担当	6469-5181
	天王寺・阿倍野地区	橋爪特別顧問、嘉名特別参与、橋本特別参与	大阪府府民文化部都市魅力創造局都市魅力課	6210-9741
			★大阪市ゆとりとみどり振興局天王寺動植物公園事務所天王寺魅力担当	6771-8401
	御堂筋	橋爪特別顧問、嘉名特別参与	大阪府府民文化部都市魅力創造局都市魅力課	6210-9741
			★大阪市計画調整局開発調整部デザイン施策担当	6208-7893
	築港・ベイエリア地区	橋爪特別顧問、嘉名特別参与	大阪府府民文化部都市魅力創造局国際交流・観光課	6210-9309
			★大阪市港湾局営業推進室開発調整担当	6615-7791
主要事業・計画等再構築検討（スポーツ施策）		橋爪特別顧問、嘉名特別参与	★大阪府府民文化部都市魅力創造局生涯スポーツ振興課	6210-9307
			大阪市ゆとりとみどり振興局スポーツ部生涯スポーツ担当	6469-3860

〈都市魅力戦略会議事務局〉
大阪府府民文化部都市魅力創造局都市魅力課企画グループ　TEL 06-6210-9741
大阪市ゆとりとみどり振興局企画部都市魅力戦略担当　TEL 06-6615-6312

17